

波丸に兎

謡曲「竹生島」の「月海上に浮かんでは 兎も波を奔るか 面白の島の景色や」というくだりを意匠化したもの。琵琶湖に映る月の美しさと妖艶さを表している。



雨と雷に傘をさす人

歌舞伎の仮名手本忠臣蔵五段目、山崎街道の場の「定九郎」を描いたもの。当時、大雨といえば、すぐに連想するものがこれだった。



江戸時代に作られたそば猪口の蒐集家・岸間氏は、今年6月、『江古田新聴』に連載していたコラムを『健貧の江古田在から江戸を眺める』という本にまとめて出版されました。そば猪口の文様から、江戸時代の文化や江戸っ子気質を考察したり、江古田に残る江戸の面影を偲んだりする、ユニークなエッセイです。今回は、コレクションのそば猪口を見せていただきながら、そば猪口をはじめ江戸文化や江古田の今昔の話をお聞きます。

※岸間健貧氏

そば猪口蒐集・研究家。H28年5月5日BSジャパン「なんでも鑑定団 極上お宝サロン」で俳優・石坂浩ことそば猪口について対談する。

著書に『絵解き謎解き 江戸のそば猪口』、『健貧の「江古田在から江戸を眺める」』小竹町在住。

歴史講座

江古田文化倶楽部

「そば猪口に見る江戸の粋」

講師 岸間健貧氏

けん どん

<http://sobachoko.jp/>

令和元年

日時: 10月27日(日)
午後2時~4時

場所: 小竹図書館 2階会議室

対象: 一般(中学生以上)

定員: 30名(事前申込制)

申込み: カウンターまたは電話にて

☎ 5995-1121

